

SPEED ENHANCER II (TED-305) 取扱説明書

ジャイロX(2BH-TD02 1200001～)

ジャイロキャンピー(2BH-TA03 1200001～)

ジャイロX(JBH-TD02 1100001～1199999)

ジャイロキャンピー(JBH-TA03 1100001～1199999)

DiLTS JAPAN スピードエンハンサーIIをお買い上げいただきありがとうございます。

ジャイロ系ジャイロX(JBH-TD02-11～及び 2BH-TD02-12～)／ジャイロキャンピー(JBH-TA03-11～及び 2BH-TD02-12～)は、リアのディファレンシャルに専用の「スピードセンサー」が取り付けられており、ECUにより、最高速が約55Km/hになるとリミッターが作動します。

(スピードセンサーを取り外すと、ECUがスピードセンサーが壊れたと判断し、遅くなります。)

スピードメータとは独立した専用のスピードセンサーですので、メーターの速度表示やエンジン回転数には関係なく速度が55Km/h 時点で速度リミッターを作動させます。

このためたとえハイスピードブリー等を取り付けても最高速は55Km/h で制御されてしまいます。

当製品はエンジン後部に付いているスピードセンサーのカプラーを外し、カプラーONで割り込ませるだけで、これらの問題を解決しスピードセンサーによるリミッターを解除します。

この取扱説明書はスピードエンハンサーIIの取り付け方や注意点について解説しています。

本書をよくご理解の上、正しくご使用ください。

◆◆◆◆◆◆◆◆ 警告！！必ず読んで下さい！ ◆◆◆◆◆◆◆◆

ECU にはエンジン保護の為にスピードではなく、「エンジン回転の上限」を決めたレブリミットがあります。本製品を取り付けるとジャイロ系の限界近くの約9000rpm 迄回転は上昇しますが、これはエンジンにとっては危険な領域です。本製品は競技／レース等での使用を目的に製作されたものです。

使用に当たっては取り付けから使用まで、すべてお客様の自己責任になります。

公道では使用できません。

当社は一切の責任を持ちません。使い方を間違えるとエンジンに重大なダメージがあります。

取り付け等を行った第三者による行為、その他の事故に関してや、お客様の故意または過失、

誤用により生じた障害に関しても当社は一切の責任を持ちません。

本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な障害に関して当社は一切の責任を持ちません。スピードセンサーによるスピードリミッタに対応していない前期モデルでは使用できません。

スピードエンハンサーIIの取り付け方

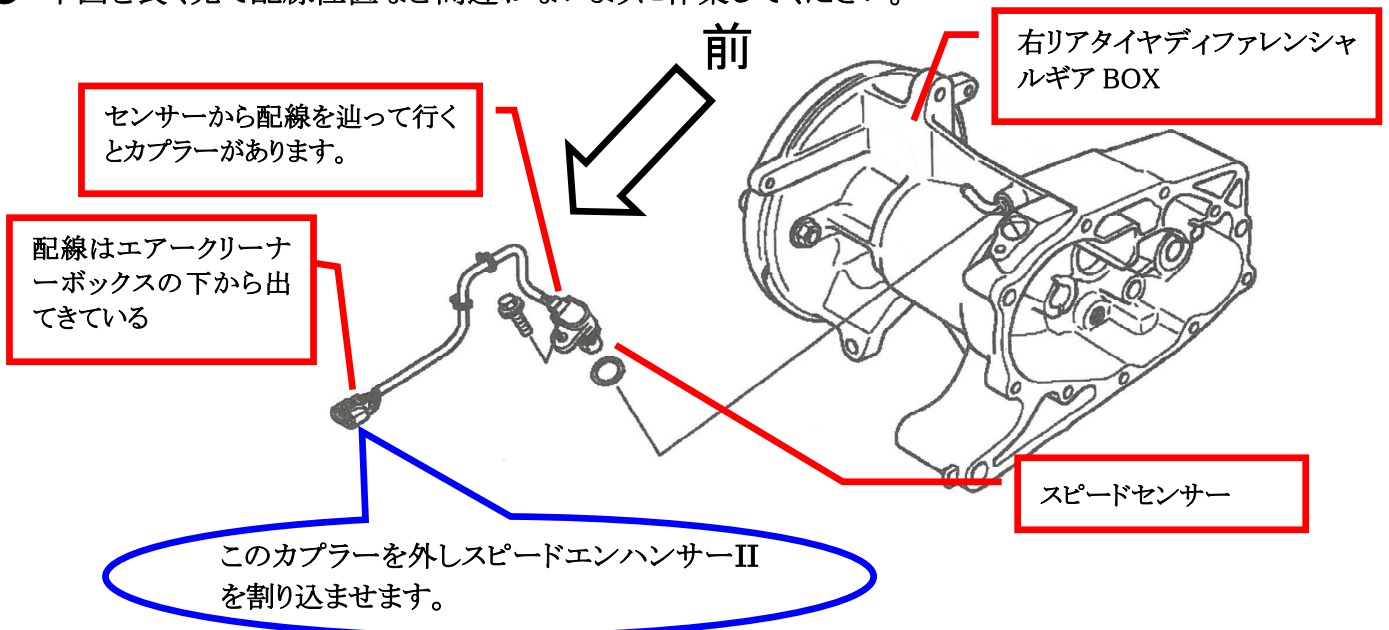
取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なジャイロ系の整備知識が必要です。

サービスマニュアルに従ってディファレンシャルに取り付いているスピードセンサーへの配線が作業できるようにしてください。

スピードセンサーと車体側を接続しているカプラーを外して、スピードエンハンサーII のカプラーをスピードセンサーと車体側との間に割り込みするようにカプラーを取り付けてください。スピードエンハンサーII は近くに取り付けてください。

※ 本機は日常生活防水仕様です。水没したり常時雨水のかからない所へ取り付けてください。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



スピードセンサーカプラー
配線色は
黄/赤、桃/緑、緑/黒

エアクリナー
ボックスの下から
出てきている
配線

右リアタイヤ



カプラーを外してスピードエンハンサー II を取り付けます

※スピードエンハンサーII を取り付けましたが速度が上がらない

スピードエンハンサーIIは「速度リミッター」だけを解除します。(製品の説明にありますようにエンジン回転リミッターは残っています。)

リヤギヤBOXから出てるスピードセンサーの線にあるカプラーに割り込んで信号をキャンセルします。

上記構造(スピードリミッター)はエンジン回転が上がっても、ハイスピードプーリーをつけてもスピードメーターとは「独立した」スピードセンサーが55km/hを検出したらその時に制御するものです。

従いまして、駆動系(ベルトの横幅や伸び)ウエイトローラーなどが磨り減りなどでそもそもスピードが出ない車両では効果がありません。

新車のノーマルは約60~62km/h位スピードがでる実力があるのを

①スピードリミッターで55km/hになったら止めてしまう

②エンジン回転が9000回転を超えると止めてしまう

この2つのリミッターが制御しています。

スピードエンハンサーIIは①のスピードリミッターのみを停止させます。

駆動系がへたってしまうと、その分エンジン回転が上昇して、ノーマルより高回転で55km/hで走ってる感じです。正常なジャイロの場合スピードエンハンサーIIをつけてもエンジン回転で9000回転位で「回転リミッター」がかかります。これはスピードリミッターとは独立したエンジン回転専用のリミッターですが正常な駆動系は9000回転位回ると通常60km/h以上スピードが出ます。駆動系が磨り減っている場合エンジン回転は正常な場合より、磨り減った分だけ「上昇しないとスピードが出ない」状態になっています。従いましてスピードリミッターを切ってもエンジン回転が上がる分がエンジン回転リミッターに引っかかります。結果スピードエンハンサーIIを取り付けてもスピードが出ないって事になります(もしくは変わらないように感じる)

・新車は、例えば7000回転位で55km/h出ているとするとその状態で「スピードリミッター」を切れれば、もうひとつの回転リミッターに引っかかる限度の9000回転付近まで使える様になるので、その分スピードは上がります。

これが正常な場合です。

・ところが駆動系がへたったり、磨り減ったりすると、元々9000回転で55km/h出ている状態になっています。しかしエンジン回転とか関係なく55kmでスピードリミッターが作動しています。この状態で「スピードリミッター」だけを停止させても今度は9000回転のエンジン回転リミッターに引っかかります。結果55km付近で丁度リミッターが掛かったような感じになります。

ジャイロ系の車両はタコメーターが無いためエンジン(駆動系)の状態がご本人さまや販売店でも把握しにくく、このような原因の車両が多く見受けられます。

スピードエンハンサーIIの故障や取り付けミスなどの場合スピード信号がECUに入らなくなるのでさらに遅くなります(回転数が制御され、約45Km/hしか出ない)

駆動系が磨り減ったバイクでは、スピードエンハンサーIIを取り付けても効果がありません。ベルト/プーリー/ウエイトローラーなどのオーバーホールを行ってください。バイク店/整備工場などで検査して必要なら交換すると解決します。

中古で御購入された車両などは特に御注意ください。

また取り付け時などに配線(カプラーの根元)などの破損に御注意ください。カプラーが引っ張られると根元で(カプラー内部で)線が抜けてしまう事もあります。取り外しは慎重にお願いいたします。